

【協働の評価】

協働で進めて いきたい理由	多世代交流イベントの新しいアイデアを取り入れるとともに、地域に根差した団体の 特徴やノウハウを活用し、魅力的な多世代交流事業の展開が期待されるため。
協働の 成果・効果	【協働の成果目標】 ・市民の視点に立った事業実施につながる。 ・多世代交流を目的としたイベント等の開催実績のある団体と協働することで、地 域で把握される課題に取り組むことができる。 ・事業実施のために、運営側に若年層やミドル世代がかかわることで、必然的に多 世代交流の機会を創出する。
	【達成できた点】 ・スマホサロン参加者からのアンケートでは「今後も同様のサロンがあれば参加し たい。」「サロンの存在は心強い。」という感想をいただいた。サロン後には懇親会 を設け、スマホの困りごとや日常の出来事がざくばらんに話され、交流がなされ た。 ・料理サロンではスタッフであるミドル世代と高齢者が協力して作業し、できあが った食事を一緒に食べることを通して交流が生まれた。 ・事業の実施で、多世代交流の機会を創出した。 【達成できなかった点】 ・スマホサロン参加者からのアンケートでは「もう少し長い時間で受けたい。」と いう感想をいただいた。定員や日程の関係でサロンに参加できなかった方からは、 回数を増えるとよいという意見をいただいた。
相互評価 ※上手くいったこと 問題点・課題など	【事業実施前】 ★3 ○市 事業目的、スケジュール等をしっかりと話し合うことができた。 ○団体 事業目的や内容、企画、進め方について、しっかりと話し合い、お互いの認識を確 認することができた。
	【事業実施中】 ★4 ○市 ・定期的に打合せを行いながら、役割分担に基づき進めることができている。 ○団体 ・疑問点があった時などは、連絡をスムーズに取り合うことができ、確認、調整す ることができている。
	【事業終了時】 ★5 ○市 ・料理サロン、スマホサロンともに今後も開催してほしい、という声を多数いただ いた。団体はサロンの経験が豊富で、高齢者の困りごととも理解されていて、寄り添 ったサロンの運営が実施された。 ○団体 ・団体の知識、経験を活かしながら、自分たちだけではできなかったこと（主に予 算と広報）が市と協働することにより、市内のシニア層とつながり、皆さんにも楽 しんでいただくことができ、感謝され、協働としてとても良い成果が得られたと感 じた。 ・料理サロンがスタッフの体調不良のために延期になった際にも、スムーズに対応

	していただいた。その後の延期の計画も進めることができ、急な対応もできてよかった。 ・上記のような急な延期もあるので、開催時期が秋・冬ではない方が安心できると思った。また、対応できるスタッフがほかにもいると良いが、内容的になかなか難しいことも実感した。 ・最後まで心地よく協力して実施することができた。 ・市、団体ともに気づかなかった点（盛り上がってしまった際にマイクがあると良かったなど）があった。
今後の展望	・参加された方々のお声や、満席で申込ができなかった方たちも多かったことから、今後も同じようなサロンを待ち望んでいる方が大勢いたことがわかったので、できることならまた同じように協働で開催していきたい。 ・その時のニーズに合った内容を考え、料理やスマホだけに限らず、範囲を広げて活動が続けていきたい。